

保護観察所における性犯罪者処遇プログラム受講者の再犯等に関する分析結果の概要（令和2年3月）

性犯罪者処遇プログラムの構成

導入
プログラム

コア
プログラム

・全5課程からなる中核的なプログラム
・特別遵守事項により義務付け

指導強化
プログラム

家族
プログラム

対象・方法

対 象

平成26年に保護観察を開始した男性の性犯罪者（仮釈放者・保護観察付執行猶予者） 1,198人

- 受講群 : コア・プログラムを受講した者 901人
- 非受講群 : コア・プログラムを受講していない者（※） 297人

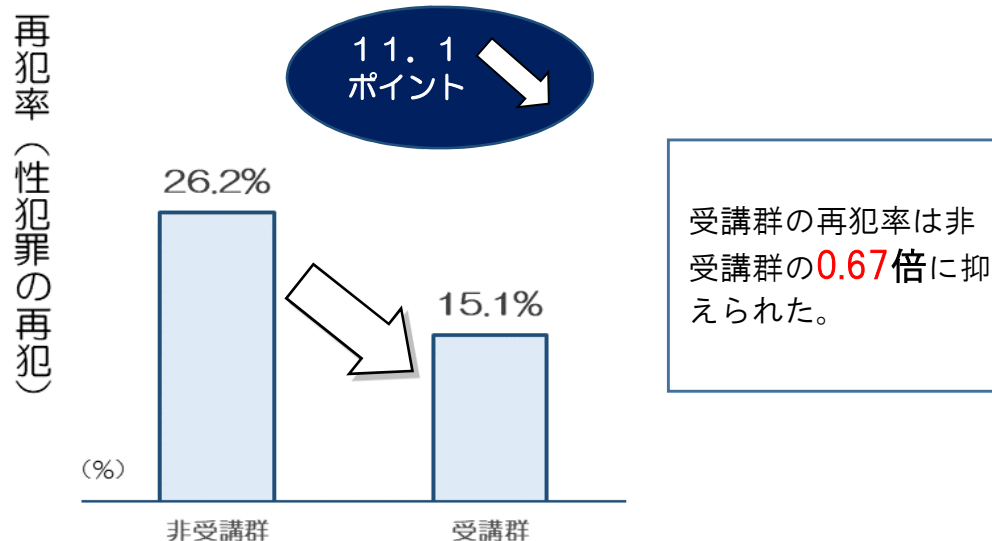
（※）保護観察期間が3月未満、重度の知的障害又は精神障害を有する等の除外事由に該当する者

方 法

- 受講群と非受講群の再犯の発生状況を追跡調査（平成31年3月末日まで。最長5年3月）し、再犯の発生とプログラム受講の有無の関連を分析
- 両群の再犯リスクの高低を統制した上で比較分析

結 果

性犯罪者処遇プログラムの再犯抑止効果が示唆された



今後、プログラムの効果を更に分析するために、保護観察事件記録の精査や保護観察官へのインタビュー等による質的分析を実施していく必要がある